◎富士見市一般廃棄物処理基本計画第２次計画の改訂の要約は以下の通りです。なお、詳細は本編冊子をご参照ください。

①　評価にあたってのポイント

１　人口様態の変化　（35 ページ）

当市の人口は、当初計画に予測していた人口推移に対して増加しており、今後も増加する見込みとなっています。人口の見込みについては、平成２７年度に策定した人口ビジョンの推計値を使用しています。

２　ごみ質の変化

デジタル化が進み、ペーパーレス社会になりつつあります。また、スチール缶容器で販売されていたものがアルミ缶容器に変わる等、容器包装類の質的・量的変化が起こっています。

３　事業系ごみの増加　（39 ページ）

高齢者介護施設、飲食店等の増加や大型商業施設の開業により排出される事業系ごみの増加が見込まれています。

４　国・県の計画の変更　（46 ページ）

国は、『第３次循環型社会形成推進基本計画』を平成２５年５月に閣議決定し、県は『第８次廃棄物処理基本計画』を平成２８年３月に策定予定となっています。

また、国の『ごみ処理基本計画策定指針』についても平成２５年６月に改訂されました。

上記のポイント等により中間年度進捗評価を行い、予測値及び目標値等を改めました。

②　見直しの内容

１　上記に掲げた社会経済状況の変化による目標値・予測値の見直し（３５ページ～５０ページ）

２　各施策の進捗状況及び中間評価（２８ページ～２９ページ）

３　施策の追加（５１ページ～５４ページ）